



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	16年末株価
NYダウ	23,328.63	165.59	0.71	2.00	18.04	19,762.60
NASDAQ	6,629.05	23.99	0.36	0.35	23.15	5,383.12
日経225	21,457.64	9.12	0.04	1.43	12.26	19,114.37
上海総合	3,378.65	8.48	0.25	-0.35	8.86	3,103.64
滬深300 (CSI300)	3,926.85	-4.40	-0.11	0.15	18.63	3,310.08
ハンセン	28,487.24	328.15	1.17	0.04	29.48	22,000.56
H株	11,558.35	200.90	1.77	0.33	23.03	9,394.87

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は0.04%高と小幅ながら3週続伸、本土市場は0.4%安

香港市場ではハンセン指数が週間で0.04%高と小幅ながら3週続伸。週前半は中国共産党大会を前に様子見気分が強かったが、週後半に相場は大きく動いた。ブラックマンデーからちょうど30周年に当たる19日はハンセン指数が後場に急落。ただ、翌20日には前日のNYの上昇を受けて買い戻される展開となった。本土市場では上海総合指数が週間で0.4%安と反落。上海総合指数は16日に節目の3400ポイントにタッチする場面もあったが、その後は利益確定売りで上値の重い展開が続いた。

今週の展望:香港市場は好地合い継続か、引き続き好調な海外市場が追い風に

香港市場は好地合い継続か。NY市場で主要指数の高値更新が続いており、好調な海外市場が引き続き支援材料となりそうだ。高値警戒感はなくすぶるものの、北朝鮮が挑発行為を控えていることも投資家のリスクオン姿勢につながっている。また7-9月期決算の発表が本格化するなか、企業業績への期待も相場の押し上げ材料となりそうだ。一方、本土市場はやや軟調な展開か。好調な企業業績はプラス材料だが、共産党大会の閉幕を受けて政府系資金による買い支え期待の後退が見込まれる。

先週のハンセン騰落ランキング

▼値上がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国平安保険(02318)	67.15	5.00
2 キャセイ・パンフィック(00293)	13.34	4.55
3 Link REIT(00823)	66.40	4.32
4 中国旺旺(00151)	6.04	3.42
5 招商局港口(00144)	24.95	3.31
6 長江実業集団(01113)	66.70	2.93
7 レボグループ(00992)	4.57	2.24
8 中国人寿保険(02628)	24.60	2.07
9 長江和記実業(00001)	101.50	1.60
10 チャイナ・モバイル(00941)	79.30	1.15

▼値下がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国神華能源(01088)	18.88	-2.48
2 吉利汽車(00175)	26.30	-2.41
3 華潤電力控股(00836)	13.92	-1.97
4 AIAグループ(01299)	60.20	-1.55
5 万洲国際(00288)	7.81	-1.39
6 中国中信(00267)	11.54	-1.37
7 恒隆地産(00101)	18.80	-1.36
8 CNOOC(00883)	9.96	-1.19
9 中国工商银行(01398)	6.30	-1.10
10 サンス・チャイナ(01928)	37.50	-1.06

▼今週の主なイベント

- 10月24日(火) 【中国】共産党大会閉幕
- 10月26日(木) 【香港】貿易統計(9月)
- 10月27日(金) 【米国】GDP速報値(7-9月期)

▼今週の期待材料

- ◆NY市場で主要3指数がそろって過去最高値を更新、海外市場の好調が引き続き香港市場の追い風に
- ◆A株上場企業の1-9月期決算が好調、23日時点で比較可能な357銘柄の売上高は29%増、純利益は44%増
- ◆中国人民銀行が先週の公開市場操作で差し引き5600億元の資金を供給、10月の供給額は3200億元に

▼今週の懸念材料

- ◆ハンセン指数が07年12月以来の高値圏で推移、きっかけ次第で利益確定売りが広がりやすい状況に
- ◆24日に中国共産党大会が閉幕、政治イベント通過で政府系資金による買い支え期待が後退する公算
- ◆中国の7-9月期GDP成長率が6.8%と4-6月期から0.1ポイント減速、引き締め強化でさらなる減速も

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ チャイナ・モバイル (00941) : 1-9月期決算は5%増益、4Gや法人向け需要が拡大
- ☆ エン州煤業 (01171) : 7-9月期の石炭生産量が32%増加、1-9月は23%増
- ☆ 中国鉄建 (01186) : 1-9月期の新規受注額が25%増、高速道路が79%増と拡大
- ☆ 華潤セメント (01313) : 7-9月期決算は74%増益、セメント価格の上昇が寄与
- ☆ 中国人民財産保険 (02328) : 1-9月の保険料収入が12%増加と堅調、9月は14%増
- ☆ 中国人寿保険 (02628) : 26日に1-9月期決算を発表、会社見通しは95%増益
- ◇ 四川高速道路 (00107) : 9月の通行料収入は9%増、伸び率は8月から大幅に鈍化
- ★ テキスウインカ (00321) : 9月中間決算は特別利益の反動などで約60%減益の見通し
- ★ 浙江世宝 (01057) : 17年本決算は最大30%減益の見通し、1-9月期は19%減益
- ★ BYD (01211) : 27日に1-9月期決算を発表、会社見通しは20-25%減益と苦戦

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。